

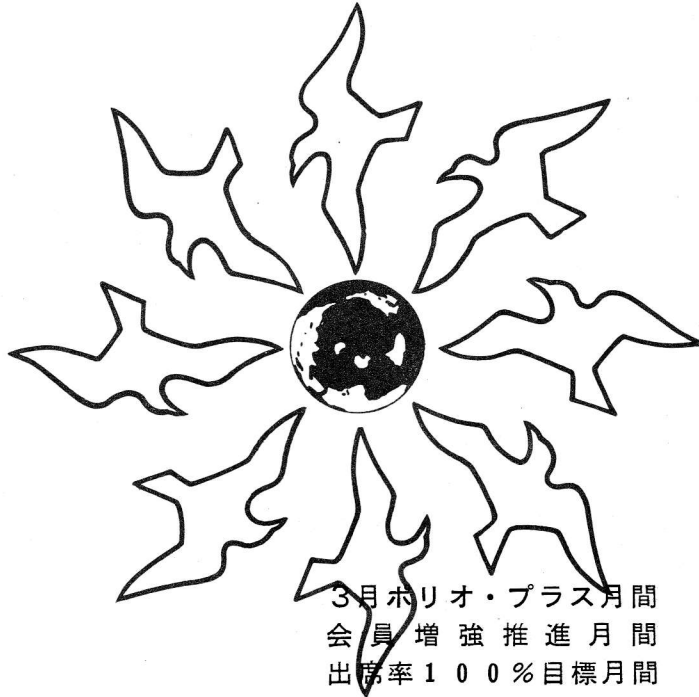


THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

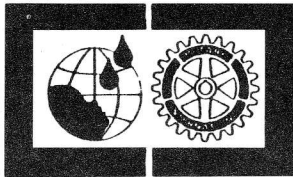
## PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

ロータリーに  
活力を--  
あなたの  
活力を



3月ホリオ・プラス月間  
会員増強推進月間  
出席率100%目標月間

**PolioPlus**



● 次回卓語予定者

1989. 3. 24. (金) 第71回例会

### 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話
9. 点 鐘

## 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)  
 例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015  
 事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地  
 TEL 0985-74-1078

会 長	山 脇 忍
副 会 長	池 田 仁 志
幹 事	斉 藤 数 馬
会 計	佐 野 保
会報委員長	垂 水 敏 雄

## 第70回例会記録（平成1・3・17）

会長挨拶 山 脇 忍

皆さん こんにちは。 本日は第70回例会  
であります。

今回は、例会に引きフォーラム並びに坂本会  
員の送別会をいたしますので、よろしくお願  
いします。

フォーラムの議題は、一つはポリオ・プラス  
月間にちなんで、それに会員増強を更に積極  
的に進める必要を感じますので、「ポリオ・プ  
ラスと会員増強」の2題を選んだ訳でござい  
ます。

皆さんの活発な発言を期待します。

これによって、クラブの活性化が一段と進展  
することを願っています。

[ロータリーの創始者、ポール・P・ハ  
リスについて]

弁護士であったポール・P・ハリス(1868  
~1947)は、世界で最初にして最も国際的  
な奉仕クラブの創始者である。

ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる  
職業において高度の道徳的基準を守ることを  
奨励し、かつ、世界における親善と平和の確立  
に寄与することを目指した、実業人および専門  
職業人が世界的に結び合った団体である。

ポール・ハリスは1868年4月19日、米  
国ウイスコンシン州レーシンに生まれた。

ジョージ・N・ハリスとコーネリア・ブラ  
イアン・ハリスの二男である。

妻、ジーン・トムソン・ハリス(1881~  
1963)との間に子供はなかった。

彼は、バーモント大学からは学士と法学博士  
号を、又、アイオワ大学からは法学士の学位を  
取得した。又、1933年にはバーモント大学  
から名誉博士号を贈られている。

ポール・ハリスは新聞記者、実業大学の先生、  
俳優、カウボーイなど転々と勤め、また、米国  
およびヨーロッパの大理石・花崗岩商店のセ  
ールスマンとして広範囲に渡って旅行した。

1896年シカゴに行き弁護士を開業している。

1900年のある時、彼は郊外に住む友人の弁  
護士と夕食を共にした後、近所の数件の商店に  
立ち寄った。

その際、友人は彼を、知り合いのこれらの商  
店の主に紹介した。

この事は彼を痛く感動させ、そしてこの体験  
から、彼は自身の顧客の少なくとも数人を社交  
上の友人とすることはできないものであろうか  
と考へ、実業および専門職業人の代表者からなる  
グループを、友情と親睦で結び合わせる1つ  
のクラブを創ろうと決心した。

1905年2月23日、ポール・ハリスは、  
顧客の3名、即ち石炭商のシルベスター・シー  
ル、鉱山技術師のガスタバス・ローア、洋服屋  
のハイラム・ショーレと共に最初のクラブを結  
成した。

ここに、後日世界中に結成された何千という  
ロータリー・クラブの核心が出来上がったので  
ある。

ポール・ハリスは、新しいクラブを「ロータ  
リー」と名付けた。

それは、会員が各自の事業所で輪番に会合し  
たためである。

クラブ会員は急速に増加した。

集まった会員の殆どに共通した点は、小都市  
か田舎からシカゴに出てきたという点であり、  
そして、ロータリー・クラブにおいて彼らは少

年時代の親密な交友を見いだすことができたのである。

創設後3年目にクラブ会長に就任したポール・ハリスは、ロータリーを他の都市にも広げるよう努力した。

それは、ロータリーを将来重要な奉仕運動に発展させることが出来ると確信したためである。

1908年、第2番目のクラブがサンフランシスコに結成された。

そして1910年8月、クラブの数が16に達したとき、全米ロータリー・クラブ連合会が組織された。

その後カナダとイギリスにもクラブが結成され、1912年にこの名称は、「ロータリー・クラブ国際連合会」と改称されたが、現在の名称である「国際ロータリー」と縮められたのは1922年のことである。

ポール・ハリスは、全米連合会および国際連合会の初代会長を務めた。

1947年1月2日にポール・ハリスはこの世を去ったが、その際は国際ロータリーの名誉会長であった。

そして、その当時世界を通じ約6,000を数えたクラブは、1983年までには150ヶ国を超える国および地理的地域に、20,000以上を数えるものとなっている。

ロータリアンは、障害者更生活動、青少年への奉仕、また高齢者の援助など、種々な方法を通じて地域社会奉仕を行う。

またロータリーの職業奉仕プログラムは、高い道徳的水準の維持、青少年に対する就職問題、障害者の職業プログラムやその他の活動を含んでいる。

国際奉仕では、ロータリー・クラブは異なった国々のクラブの間で行う青少年交換や協同的

奉仕活動など、さまざまな人対人プロジェクトを展開する。

また、ロータリー財団は世界を通じ2,000万ドルを支出し、国際的教育および慈善プログラムを実施している。

これら財団のプログラムには毎年約2,000名の若人が参加する教育的交換活動も含まれる。

保健・飢餓追放・人間性尊重プログラム(3-H)は、開発途上にある国々における全国的免疫性付与プログラムのような、大規模なプロジェクトに資金を支給するものであるが、これらのプロジェクトにはロータリアン篤志家も数多く参加している。

ポール・ハリスはロータリーのために多くの時間を捧げたが、その一方、市民活動、また専門分野における活動においても傑出した人物であった。

彼は、全米身体障害者協会ならびに国際身体障害児童協会の会長を務め、シカゴ弁護士協会の会員および同協会のヘーグ国際法律会議への代表、また、全米弁護士協会の委員として活躍した。

アメリカ・ボーイスカウトからSilver Buffalo賞を授与され、また、ブラジルチリ、ドミニカ共和国、エクアドール、フランス及びペルーの各国政府から、叙勲の榮に浴した。



## フォーラム

### ポリオ・プラス

ポリオ・プラスの意義とか、実施計画について

ては、当クラブ第19回例会（昭63・3・4）における山協会長の卓話や、ロータリーの友、ガバナー月信などの関係記事によって各会員はすでに了知されていることと思うので、肝心の当クラブの募金計画を検討したい、と岩切国際奉仕委員長から提起されました。

○ 佐野会計より

現在までの、佐土原RCからRI事務局に送付したポリオ・プラス寄付金は、6万円（472,44ドル）です。

全国のロータリアンが1人最低2万円を拠出することが期待目標とされていますので、当クラブの目標額は（2万円×19人）で38万円となります。

従って、1991年（平成3年）6月30日までに32万円程度の寄付金が要請されていることとなります。

○ 話し合いの結果、次のような案に賛同が多かったようでした。

佐土原RCは、会員の確保に最重点を置かなければならない時であるので、対外的な出費については、なるべく無理のいかない方法で会員に拠出してもらうのが望ましい。当クラブのポリオ・プラス委員会が実施している、例会時のポリオ・プラス・ポストへの募金投入による方法を主体とするのが良いと思われる。

例えば、本年4月から1991年5月までの例会回数は計108回あるので、平均して15名出席した場合、1人が1回200円以上を投入すれば、32万円に達することができる。

投入額によっては、目標達成時期は早まることになる。



## 会 員 増 強

はじめに、坂本会員増強委員長から、このたびの定期異動で小林支部へ転動することになり、会員増強の実績を挙げることなく佐土原RCを去ることは、本当に申し訳なく考えている、これからも皆さんが一丸となって会員増強に取り組まれることを祈念している、との謙虚なご挨拶があり、フォーラムに入りました。

○ 佐土原地区の会員増強の問題点

- ・ 社会のために奉仕しようという気持ちが土着の住民に一般的に薄弱である。
- ・ 会員候補として適格と思われる人は、佐土原ライオンズ・クラブの現会員であったり、また、そのOBであったりして、勧誘が困難である。
- ・ 誘致企業の経営責任者は、本社との関係からか、地元のロータリー・クラブへの加入に消極的である。
- ・ 若年層の事業主は、中小企業が多く、例会の時間帯に継続して出席することが無理である。

○ 今後の会員増強への取り組み

- ・ ロータリーとは何かを、地区住民に十分理解させる。  
ロータリーは金と暇のある人が集って昼食をしたり、社会福祉施設に寄付をしたりする団体である、という誤った観念を先ず払拭しなければならない。  
会員自身がロータリーを理解するよう努めることは勿論である。
- ・ 職業分類表による未充鎮部門ごとに、再度入会適格者を選考する。
- ・ 入会適格者に「佐土原ロータリー・クラブ入会への案内」、最近のロータリー情報誌などを郵送し、できれば例会状況を見に来てもらう。

- ・ 入会勧誘チームを編成し、ねばり強く入会推薦候補者を訪問し話し合う。



坂本勝彦会員へ

感謝状贈呈

佐土原ロータリー・クラブ創立準備委員・認証状伝達式財務委員長・クラブ会員増強委員長として最大の貢献をされ、ロータリアンとしても会員の範であられた坂本会員のご功績に対し、山協会長から送別会の席上「感謝状」が贈られました。

身に余る感謝状を賜わり、かくも盛大な送別の宴まで設けていただきまして、感謝の念で一杯です。

クラブの役にどれほど立てたのか、恥ずかしい限りです。

これからもロータリー精神を忘れずに、頑張っていきたいと思えます。

佐土原ロータリー・クラブのご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

(春団治こと) 坂本 勝彦

1988～89年度 I. G. F. -

### 第1分科会報告

垂水敏雄

第1分科会のテーマは、「ロータリー・クラブの活性化および地域青少年の健全なる育成にロータリアンはいかに寄与すべきか」でした。

カウンセラーの吉村武文パストガバナーから、当初に基調講話がありました。

〔要旨〕

ロータリーに加入して良かった点のアンケートに、次のような2項目が挙げられています。

1. 地区大会に初めて参加して、ロータリーの精神によって結ばれているこんなにも多くの仲間がいることを知った。
2. ロータリー・クラブの会員は、入会歴・年齢等に関係なく平等・対等につき合える。

ロイス・アビー会長は、「ロータリーに活力を—あなたの活力を」とクラブの活性化を要請されています。

「活力」とは、「行動」を意味します。

ロータリーは行動しなければなりません。

よきロータリアンとは、奉仕の理想を遂行するに当って、進んで行動し、依頼されたときは自ら最善を尽くす人であるといえます。

正会員とは、単なるレギュラーメンバーの意味ではなく、アクティブメンバーのことを指します。即ち、積極的に行動を起こすメンバーのことです。

会員増強の問題点として、入会資格選考基準が次のように考えられます。

1. クラブの諸会合に出席できるか  
(仕事が多忙という理由で、時々しか出席できないようではだめです。)
2. 奉仕の意欲があるか  
(ロータリアンに必要な基本的資質です。)
3. 常に行動的であるか  
(クラブの活性化には、アクティブ会員が必要なのです。)
4. 協調性があるか  
(我を通すような人は、クラブにとってマイナスです。)

会員増強と共に、クラブの活性化に大切なことは、現会員のロータリアンとしての資質の向

上が挙げられます。

入会歴の長い会員は、「錆」が着き易いものです。「錆」とは、無関心・無協力・無気力のことです。

自ら気分を新たに、「錆」を取り除くよう心掛けなければなりません。

新しい会員には、ロータリー情報を積極的に提供し、よきロータリアンへの育成を図るよう留意すべきです。

アンケート調査結果で、「クラブの活性化のための内部施策」では、会員の親睦の強化を最も重視したクラブが17ありました。

親睦を深めるためには、できるだけクラブ会員が集まる機会をつくることです。

例会も、朝食会、夕食会、朝風呂会、坐禅会、夫人同伴会など変化をつけて、楽しい集いを図っているクラブもあります。

例会以外に、ファイヤサイドミーティングやクラブフォーラムを有効に実施することも必要です。

要は、会合を重ねることによって、会員同志の心のつながりを深め、何でも話し合えるクラブに育てることができると考えます。

講話の後、クラブの実情報告がありました。

都城中央RCは、創立以来3年間も例会の出席率100%を継続しているそうですが、そのわけは、入会適格者に勧誘のとき、例会等に必ず出席できるか、無届欠席も遅刻も絶対できないが遵守できるか、を確約しているからであろうということでした。

また、延岡東RCの井上日出男会員は、多忙な産婦人科医師でありながら、20年間例会無欠席を続けておられます。

例会日が、来診者の最も多い月曜日であったため、最初は困ったけれども、思い切って例会時間を休診にし、1年間100%出席を頑張っ

てみました。

2年目も何とか100%出席を続け、それから1年、1年と積み重ねていくうちに、いつの間にか20年経ってしまった、と談々とお話しになりました。

人間は、為そうという意志が強固であれば、何事も成し遂げられるものであるという実例を教えてくださいました。

地域青少年の健全育成についてのロータリー・クラブの実践活動報告は、時間の都合で十分にはされませんでした。

ローターアクト・クラブの状況について3つのRCから発表がありましたが、当クラブには未だ先のことですので割愛いたします。

結論として感じたことは、自分たちのクラブは、自分たちで活性化を図り、自分たちで問題を解決しない限り、誰も手助けはしてくれないということでした。



第70回例会 3月17日(金)

ビ ジ タ ー

西 都 興 裕 英 汎  
" 近 藤 延 一

出 席 報 告

会 員 数	19名
ホ ー ム 欠 席 者 数	4名
ホ ー ム 出 席 者 数	15名
ホ ー ム 出 席 率	78.95%
欠 席 者 名	上 田 ・ 立 山 ・ 武 政 ・ 蛭 原